

計画の名称	遠軽地区都市再生整備計画											
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	遠軽町											
計画の目標	大目標 中心市街地に新たなにぎわいを生み、人と人との交流を創出する 目標1：芸術・文化活動の拠点施設整備による中心市街地の活性化 目標2：にぎわいと明るさのあふれるまちづくりの創出 目標3：公共交通環境の整備による中心市街地への誘導 目標4：空き店舗等の活用による商店街の再生											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,181	A	3,181	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (R6末)
1	総合計画における町民アンケートにより「活気を感じるまち」と思う人の割合を評価する。「活気を感じるまち」と思う人の割合を16.40%(H26)から20.0%(H35)へ高率の目標とする。(目標1・2) アンケート調査により「活気を感じるまち」と思う人の割合 H19調査時13.3% H26調査時16.4% = 3.1%増(約50人)、H35調査時においても3.1%増を基本目標とする。	16%	%	20%
2	公共交通環境の改善やイベント開催などの中心市街地の活性化による効果を、JR遠軽駅の1日平均乗降人数により評価する。1日平均乗降人数を135人/日(H29)から138人/日(H35)へ高人数の目標とする。(目標3) JR遠軽駅の1日の平均乗降人数 H29平均乗降人数135人(学生・地域住民65人、 観光・出張等70人) 65人×人口減少率94% = 61人 70人×入込見込率110% = 77人 合計138人/日	135人	人	138人
3	中心市街地における空き店舗の解消を空き店舗率により評価する。中心市街地における空き店舗率を26.7%(H29)から21.0%(H35)へ低率の目標とする。(目標4) 空き店舗率 H29空き店舗数52店舗/総店舗数195店舗 = 26.7% H35空き店舗数42店舗/総店舗数195店舗 21%	26%	%	21%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
アンケート調査により「活気を感じるまち」と思う人の割合の補足・「そう思う」「やや思う」人の合算割合当初現況値16.4%空店舗率の補足・2店舗×5ヵ年 = 10店舗解消 当初現況値 26.7%期間は令和2年度～令和6年度と記載されているが、実際は平成31年度～令和6年度														

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	遠軽町	直接	遠軽町	-	-	遠軽地区都市再生整備計画事業	事業区域 A=29ha（道路、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設、地域創造支援事業）	遠軽町						3,181		-	
											小計						3,181			
											合計							3,181		